



PRESENT



てきせつ うたがえ
「**適切に疑え**」

体育科の川崎です。

みんなは、これまでたくさんの「当たり前」を教わってきたと思います。

「こうすべきだよ」「これは普通だよ」「みんながやっているよ」など、..

大人も、先生も、社会も、無意識のうちに多くの“常識”を伝えています。でも、その“当たり前”は本当に正しいのでしょうか。

○「適切に疑う」ことは、考えることのスタート

疑うというと、悪いことのように聞こえるかもしれませんが。でもここでいう“疑う”とは、

- ・ものごとを一度立ち止まって考えること
- ・本当にそうなのかな？と自分の頭で確かめてみること
- ・納得してから行動すること

など、自分の人生を自分で選ぶための大切な行為です。誰かが言った「正しいこと」をそのまま信じるだけでは、みなさん自身の世界を広がりません。

むしろ、「なんでこの考え方になるのだろう？」と考える人こそ、これからの時代を生き抜く力を持つ人だと僕は思います。

○大人の言葉も、“いったん疑っていい”

先生の言うことも、親が言うことも、社会の空気も、みんなは「はい、そうですか」と受け入れなくてもかまいません。

なぜなら、大人も間違えることがあるし、みんなの人生はみんな自身のものだからです。

ただし、「相手を傷つけるための“反抗”ではなく、自分の選択を確かめるための“問い”として疑うことが大切です。

正解がない時代だからこそ、一番強いのは「考え続けられる人」です。

「なんでだろう？」「ほんとうにそうかな？」「自分はどうしたいんだろう？」

そんな小さな問いや疑問が、みんなの未来を大きく変えると思います。

みんなには、自分の頭で考え、自分で人生を選び取れる人になってほしい。そのために学校はあると僕は思っています。みんなが自分で考えて、納得して選んだ選択なら、周りの人も全力で応援してくれるはず。ぜひ、「適切に疑う」視点を持って、生活していってくれたらなと思います。

以上、今回の Present の担当は川崎でした。